

□議員名：奥 良秀

1 公共工事の工期設定等について

論点	調査及び設計について課題はあるか。
回答	専門性が高く大規模事業について、設計事務所に設計業務を委託している。設計受注者は、的確に設計図書に反映するため精査を行い、不整合がないよう精査を行う義務がある。市も事前に設計図書の確認を行い成果品納品時に間違いのないよう努めているが、難しい。

論点	地域における工事量の把握に努力し、年度当初からの予算執行、繁忙期を避けた発注等、工事施工時期の平準化を行っているか。
回答	現在、発注工事量がかなり多く、工事が集中している。入札しても、受注者が辞退という状況もある。しかし、完成年度の兼ね合いがあるため、やむを得ないのが現状だ。

論点	現状の技術職員の人数で足りているか。
回答	一人の技術職員でいくつもの工事を抱えているのが現状だ。管理委託業務という形で、少しは負担を軽くしているがそれでも十分とはいえない。

2 大学工事の諸問題について

論点	大学建設工事の契約・工事等の検証は時期をみて行うといわれているが、いつ行うのか。
回答	まずは、工事を完成させて大学のほうに教育研究に早く使っていただきたい。検証も時がたてばどんどん忘れていくので、同時に進めていきたいと考えている。